

「宇宙」のこと、いろいろ知りたい

自分が住む場所は「地球」。そして、お隣の星は…と考えると、とっても広く、大きな気分になれそう。本の中の宇宙へとびだしてみませんか。



星座のひみつ E
セキ

星と仲良くなるキャンプ
関口 シュン/絵・文 木村 直人/監修
子どもの未来社

星の種類、明るさ、色から星座の形や名前、ものがたりまで、リアルなイラストで教えてくれる絵本。夜空で見つけた、星の名前を知りたかったら、見てみて。きっと見つかります。



ぼくはうちゅうじん E
ハタ

中川ひろたか/ぶん はたこうしろう/え アリス館


キャンプに来ていたぼくは、夜明け前にお父さんとお母さんと一緒に星を見ながら、いろいろな話をしています。「ちきゅうも、ほしなの？ たいようがなかったらどうなるの？ うちゅうはどれぐらい広いの？」地球から宇宙へ、夢を広げる子どもたちへ送る、学べる絵本。



スペース合宿へようこそ 913
ヤマ

山田 亜友美/作 末崎 茂樹/絵
文研出版

スペース合宿に参加した美織は、由衣と岳、黒星先生とオリジナル惑星を作ることに。どんな惑星ができるのかな？



宇宙からのことば 538

毛利 衛/文 豊田 充穂/絵
学研プラス


「地球は青かった」
「ひとりの人間にとって小さな一歩だが、人類にとって偉大な一歩である」など、宇宙飛行士たちが宇宙で感じて残したことばを、宇宙飛行士の毛利衛さんが解説します。彼らのことばをとおして宇宙を感じてみませんか？



15歳の寺子屋 宇宙少年 D
ノ

野口 聡一/著 講談社

野口聡一さんは、宇宙飛行士になりたいと思い始めてから実際に宇宙に行くまでに長い年月がかかりましたが、まわり道をしてもおぼたぬことはなかったと言います。少年の頃から多くの挑戦してきた野口さんが、「恐怖心」を乗り越える方法や、実際に宇宙に行かなければわからなかった事を教えてください。



よむプラネタリウム 冬の星空案内 443

野崎 洋子/文 中西 昭雄/写真 アリス館

現役のプラネタリウム解説者と日本を代表する天体写真家による、世界で一番やさしい星座解説の本。まるでプラネタリウムにいるような解説と美しい写真で、冬の星座を見させてくれます。ぜひ、この本を片手に夜空を眺めてみませんか？

とびだせホンキッツ

木のとしよかんは、「ほん+き」でとりくむ子どもたちを、おうえんします！


宇宙について、もっと詳しく知りたくなったら手に取ってみては。人が宇宙をめざしてチャレンジしてきたことをわかりやすく解説してくれる本2冊です。



宇宙について知っておくべき100のこと 440

アレックス・フリス、アリス・ジェームズ、ジェローム・マーティン/文 竹内 薫/訳・監修 小学館

「宇宙飛行士になるには、ロシア語で読み書きができなければならない」「宇宙ステーションでは、1日15回、日が沈む」など、誰かに教えたくないような宇宙に関する様々な知識が100件わかりやすく図解で紹介されています。



地球から宇宙をめさせ! 538

アレクサンドラ・ミジェリンスカ&ダニエル・ミジェリンスキ/文・絵 武井 摩利/訳 山崎 直子/日本語版監修 徳間書店

太陽が直径1mだと地球はグリーンピース!? 3つの太陽を持つ惑星がある!? カラーイラストで紹介されていて、思わず「へー」と声が出る1冊です。

インフォグラフィックスで学ぶ楽しいサイエンス 440

宇宙について知っておくべき100のこと